

JR東労組盛岡

No, 50
2019年 2月22日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 佐々木克之
編集人 情宣部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

盛地申4号「2019年3月ダイヤ改正」に関する申し入れ交渉 **その1**

16. 業務用タブレット端末内の「Joi Store」に公開されている「乗車人員報告アプリ」とノリホ付加時間(1分)を解消した関連性を明らかにすること。

回答 「乗車人員報告アプリ」導入に伴い、電話によるノリホ報告の必要がなくなったことによるものである。

組合

報告する作業が無くなった訳ではないのではな
いか。

これまでの付加時間の付け方を改めて確認。

電話を掛けることに1分の付加時間であったの
であれば、今回アプリを使って送信する為にか
かる時間もあるのではないか。

アプリ操作が紙に書く作業より大変になっている現場の声を主張!

メンテナンスなどアプリが使えない場合の取り
扱いは臨時作業として時間が付くのか。

第2土曜日に朝8時までメンテナンスが発生す
る。その時間帯に到着し退勤するまでの間でア
プリ送信可能な時間が6分間という行路がある。
整理時間の中でアプリ送信という考え方か。

会社

今までは紙に書いて運輸区に届けることが基本で
あるが出先地で直接持って行けない場所では電話
を掛けていた為1分ついていた。今回アプリに直
接入力の為電話の必要が無くなったものである。

今まで紙を書いていた時間と代替である。

途中であればB時間があるので現実的ではないが
それ以外であれば理由によって付く場合がある。
これはアプリに限った話ではないと考えている。

極力労働時間の中で終わらせてくださいという事
である。整理時間にはもともと昔からの流れでノ
リホ報告を加味した整理時間を多めとっているの
で充分呑み込めるという認識である。

**タブレットの導入、防犯対策など持ち物が増えているが整理時間は変わっていない事を主張!
時間内に終わらない場合は超勤対応となることを確認!**

17. 280Bの混雑緩和を講じること。

回答 車両運用の都合上、輸送力を増強するのは困難である。

地本より「新白河の総合研修センター研修生が帰る列車であることから大型研修があった場合非常に混雑する
為お客さまから意見をいただいていることから申し入れしている」という問題意識を投げかけてきました。ま
た、「案として後続の1152Bを新白河停車とし分散により混雑緩和とする」を提起しました。会社より「支
社としても事柄は運行本部に伝える。問題意識は一致している。停車駅の部分は難しい、これ以上の輸送力増
強は物理的に困難という運行本部の認識である」ということが示されました。

問題意識は一致!! 研修生に対する乗車マナー、乗車方指導を継続していくことを要請し議論終了。

18. C4106行路の262B~3009BとC4205行路の260B~客43Bとの持ち替えをすること。

回答 次期ダイヤ改正に向け関係個所と検討していく考えである。

新幹線システム上、今改正に間に合わないものの次期改正の参考にしたいとの回答が示される!